

2023

11.29 (水) 12:10  
12:50

12:10-12:15

◆ 演者紹介

12:15-12:40

◆ プレゼン

12:40-12:50

◆ 質疑応答

オンライン  
(Zoom)

登録はこちら▶▶

[https://temdec-med-kyushu-u-ac-jp.zoom.us/webinar/register/WN\\_pSUB8gbTS3q9PjxzowAKQA](https://temdec-med-kyushu-u-ac-jp.zoom.us/webinar/register/WN_pSUB8gbTS3q9PjxzowAKQA)

【技術支援】九州大学 Q-AOS &amp; TEMDEC

# 障害からはじまる アート／ケアの場の創造

司会：錢 琨 准教授 (Q-AOS 創発推進コーディネーター)



Key Words

障害／健全

芸術

社会包摂

長津 結一郎 准教授

芸術工学研究院



北海道生まれ。東京藝術大学大学院でアートマネジメント・文化政策を学び、障害のある人が関わる芸術活動の現場へのフィールドワークや参与観察で博士号を取得。慶應義塾大学で地域づくりの担い手育成の現場に関わる仕事を行ったり、多様性と境界について考える NPO 法人を立ち上げたり、障害のある人の芸術作品を紹介する展覧会の事務局をするなどの経験をした後、2016年に九州大学大学院芸術工学研究院に着任。現在は、芸術と社会包摂をテーマとして、聴覚障害のある人にとっての音楽を考える教育研究プロジェクト、劇場におけるアクセシビリティや対話型鑑賞についての実践、過疎地における農ある暮らしを文化の視点から考えるプロジェクトなどに取り組んでいます。

これまで私は、障害のある人が表現活動に関わる現場を共につくってきました。最近特に力をいれているのが、聴覚障害のある人と「音楽」について探究するプロジェクトです。こうした取り組みは、他者への「施し」を超えて、芸術それ自体や、障害それ自体の意味を問い直す可能性を秘めていると考えることができます。障害のある人と芸術との関わりから見えてくる新たな社会のあり方について、みなさんと一緒に考えてみたいと思います。